

白石地区 地域づくり 協議会だより

白石地区地域づくり協議会

〒753-0046
山口市本町1-1-25
白石地域交流センター内
TEL 083-941-5959
FAX 083-941-5966

<http://www.y-shiraishi.net/>
携帯・スマホからは上のQRコードでアクセス!



美術館前(撮影/藤本雅子)

2021年7月15日号 Vol.96

チャレンジ健康づくり第1弾! 親子、三世代でからだを動かそう!!

白石の鬼を
退治する

「鬼倒隊」改め きへいたい

「鬼斃隊」員と「見守り隊」員募集!

日時: **日程変更** 7月24日(土) 9:30~11:45
場所: 白石小学校体育館
隊員条件: 鬼斃隊員(小学生以下)、見守り隊員(中学生以上)
定員: 50名(先着順、参加費無料)
申込先: 白石地区地域づくり協議会(TEL 941-5959)
持参物: 飲み物、体育館シューズ、マスク

内容(参加、見守り選択できます)

- 修行 **壹** 遊びながら、からだを動かします。
- 修行 **貳** スリル満点! バランス感覚を身に付けます。
- 修行 **参** 集中力鍛錬、頭脳もフル回転。カップ大会!

延期となっていたグラウンド・ゴルフ春季大会開催 小雨決行

日時: **日程変更** 7月28日(水) 午前9:00~
場所: 亀山ふれあい公園(※6/19開催案内と場所が変更となっています)
申込先: 白石地区地域づくり協議会(TEL 941-5959)
申込締切: 7月21日(水)
その他: 運動の出来る服装と靴、滑り止め手袋でご参加ください。
熱中症予防のため、帽子、飲み物、タオルを必ずご持参ください。

初心者
大歓迎



過去の様子

8月6日(金) 白石地域交流センターで親子ミニちょうちんまつり開催!

8月6日(金) 18:00~21:00まで、白石地域交流センターで白石地区子ども会育成会が子どもたちと一緒に、ちょうちんの飾り付け・点灯と、竹竿にそれぞれの夢やお願いごとを短冊に書いて飾り付けをします。

参加ご希望の方は各町内会の子ども会育成会さんへ所定の申込書にご記入の上、お申し込みください。(子ども会がない方は7月27日(火)までに白石地区地域づくり協議会へお申し込みください。TEL 941-5959)

参加される方へお願い

- 必ずマスクを着用してください。
- 受付で、検温と消毒をお願いします。

以下のチェック項目に該当する方の参加は頂けません

- 白石地区外に住んでいる方
- 平熱を超える発熱(37.5℃以上)が当日に出ている方
- 体調不良(咳やのどの痛みなど風邪の症状、体のだるさ、息苦しさ、嗅覚、味覚の異常など)がある方
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる人がいる方
- 過去14日以内に県外に行かれた方



「てくてくウォーキング」を開催しました

6月6日(日)、梅雨の合間の薄雲りと天気にも恵まれて「やまぐち」はやっぱり素敵なまちだ！と再確認できるウォーキングでした。

参加された皆さんの、それぞれマイペースかつ元気な歩みに、コロナ禍を忘れられる時間でした。

(やまぐち文化も、草木のことも色々教えていただきました。ありがとうございました♪／取材担当：藤本雅子記)



6月19日(土)、祇園祭、山口七夕ちょうちんまつりの起源に関わる講演会を開催しました

伝統まつりは、今年も縮小・中止が続いています。昨年からのコロナ禍が、過去にお祭りを中断や縮小に追い込んだ、戦争と同等の災害なのだ改めて思われました。それでも、これまでも復活し、つながれてきたお祭り…。今度はコロナ禍収束の証として、厄災を払い、皆の気持ちを癒し、励ますものとして、開催される日が来ることが望めます。(続けること、つながることについて、昨年から考える機会が急増中です／取材担当：藤本雅子記)



6月12日(土)第1回史跡巡りウォーク「没後150年・毛利敬親を歩く」を開催しました

今回は、明治維新の立役者である毛利藩藩主「毛利敬親公」ゆかりの史跡を巡るコースで歩きました。静謐な空間の散策や、いつもの松前先生の軽妙な解説などで、非日常を体感できました。色々知ると、見慣れた県庁周辺の風景も、今までとは違って感じられます。知っている人には楽しく、知識がない人には興味深い時間だったのではないのでしょうか。(錦の御旗製作所跡・・・「鬼滅の刃」の中で恋柱の甘露寺さんが歌っていた「トコトンヤレ節」の錦の御旗、あそこで織っていたの?!／取材担当：藤本雅子記)



山口祇園祭 裸坊中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、7月20日(火)・7月27日(火)の裸坊は中止となります。

自主防災組織に認定されました

この度、山口市から田町町内会が、荒高町内会、西門前・新橋町内会、米屋町商店会に続いて、白石地区4番目の自主防災組織として認定されました。



田村 和正 会長

令和3年度定時総会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、止む無く中止とし、「令和2年度収支決算および令和3年度収支予算(案)」の決議につきまして、理事会において承認を了した後、代議員に書面表決としたところ、全員の承認を得たことから、可決・承認しましたので、ご報告いたします。

なお、本件の詳細につきましては弊会ホームページにて公表しております。

(単位：円)

収入の部

項目	金額
地域づくり交付金	8,386,584
交流促進特別交付金	370,000
地域づくり交付金積立分払出金	600,000
参加料	16,000
預金利息	39
合計	9,372,623

令和2年度収支決算

(単位：円)

支出の部

項目	金額	摘要	
協議会運営	5,167,194	事務局長給与、事務局員給与、事務費	
事業費	地域振興分野	3,337,657	地域づくり活動参加促進、広報活動、第3次地域づくり計画策定 「やまぐちえき」応援イベント、ふるさとまつり参加促進
	地域福祉分野	105,943	チャレンジ健康づくりノルディックウォーキング講習会 健康食のおススメ、グラウンドゴルフ大会、むかし遊び
	安心・安全分野	445,218	危険防止看板設置等、反射鏡設置等、自主防災組織モデル 安全パトロール
	環境づくり分野	95,024	五十鈴川を守る会
	地域個性創出分野	221,587	白石歴史探訪の会
合計	9,372,623		

(単位：円)

収入の部

項目	金額
地域づくり交付金	8,413,000
合計	8,413,000

令和3年度収支予算

(単位：円)

支出の部

項目	金額	摘要	
協議会運営	4,637,650	事務局長給与、事務局員給与、事務費	
事業費	地域振興分野	2,815,350	地域づくり活動参加促進、広報活動、「やまぐちえき」応援イベント 白石地区町内親睦大運動会開催支援、白石フェスティバル開催支援 町内会親睦活動支援、ふるさとまつり参加促進
	地域福祉分野	260,000	チャレンジ健康づくり、健康食のおススメ、グラウンドゴルフ参加促進 むかし遊び
	安心・安全分野	360,000	危険防止看板設置等、反射鏡設置等、自主防災活動参加促進 夏休み防災訓練キャンプ、安全パトロール
	環境づくり分野	120,000	環境美化・保全活動推進
	地域個性創出分野	220,000	白石歴史探訪の会
合計	8,413,000		

新旧 役員紹介



副会長 大田實信

この度、白石地区地域づくり協議会副会長を仰せつかりました、「大田」と申します。コロナ禍の中、協議会として「第3次地域づくり計画」の推進に向け、「気配り、目配り、心配り」をモットーに微力ながらお手伝いをしたいと思っておりますので、ご協力をよろしく申し上げます。



旧副会長 中山美穂子

4年間は瞬く間に終わりました。お役に立つことは何もできなかった気がします。思いは地域の方が気持ちを一つにしていきいきと活動される場が出来る事を願っております。お世話になりました。

第4回 友人来訪

「赤間関御手当につき、大組二組出張仰せつけおかれ候ところ、その後、奇兵人数その外農兵等追々差し出され候に付、大組二組の儀は強壯の者ばかり精選し、百人ほど残しおかれ、その餘組頭を始め出張差し除かれ候事一」

文久3年(1863)3月10日頃、京都に滞在していた晋作は、「奇兵」という2文字が含まれた「馬関戍兵編成改革意見書」を書きました。その数日後、彼は藩に10年の暇を申し出て、翌16日、剃髪し僧形となります。

その後も攘夷派の公家・姉小路公知に京坂防備の意見書を差し出したり、江戸で事を起こそうと血盟の同志を募りますが、同意したのは入江九一だけで、彼の思惑はすっかりはずれてしまうのでした。

それ以降、彼は自暴自棄になり、大きな笠をかぶり腰に短刀をぶら下げ、酒に浸って市街を横行するようになります。それを見かねた藩の重臣は、晋作の友人である堀真五郎に、彼を萩に連れ帰るよう命じたのでした。

萩に戻った晋作は、郊外の松本村の草庵で、妻マサと隠棲生活を送ります。その間、眠れぬ夜もあったようです。

4月27日、彼は萩城下に住む友人の杉徳輔(孫七郎)のもとを訪ねました。徳輔は周防国吉敷郡御堀村(現・山口市大内氷上)出身。文久元年から翌年にかけて、幕府の遣欧使節団の一員として欧州諸国を歴訪しています。実は当初、晋作もこの使節団に随行する予定で

したが、幕府は藩内から一人以上の参加を認めなかったため、晋作は選考からはずされてしまったのです。

背俗入山山亦非(俗に背いて山に入れば山亦非なり)
 忽然来扣故人扉(忽然として来たり扣く故人の扉)
 誰能知得狂生志(誰か能く知るを得ん狂生の志)
 自許西陲一布衣(自ら許す西陲の一布衣)

「自分はただ西の果ての一平民であればよい」
 この日、晋作は即興の詩で自分の思いを徳輔に示しました。

翌日、今度は徳輔が晋作のもとを訪ねます。そこで晋作は次の詩を詠みました。

門掩荒溪竹樹間(門は掩う荒溪竹樹の間)
 清風掃榻午方閑(清風掃うて午方に閑なり)
 君来何意吾無識(君来る何の意ぞ吾識る無し)
 笑指窓前数点山(笑って指す窓前数点の山)

この日、徳輔は彼に出仕を勧めに来たのではないかとされています。

しかし、晋作は笑いながら前方に見える山々を指さしていました。

緑の風が吹く午後の草庵で、聡明な徳輔はすぐに察したことでしょう。あの山のように動かぬ晋作の心を。



杉徳輔(孫七郎)生家跡周辺の様子
(山口市大内氷上)

白石歴史探訪の会
講演会を開催しました

5月22日(土)、小山良昌先生を講師にお招きして、今年度最初の講演会を開催しました。「松塾の双壁：久坂玄瑞」をテーマに講演をされ、参加された皆さんはとても興味深く傾聴されていました。



本誌掲載のイベントは、状況により変更または中止になる場合があります。
 変更・中止の場合は、白石地区地域づくり協議会フェイスブックにてお知らせします。